

情報セキュリティ方針

1. 基本理念

当社は、「地球環境保全と組織の継続的発展の考えに基づき、常に新しいマーケティングサポートシステム実現を目指し、お客様に対して価値ある製品・サービスを通じ、高い満足感を提供する。」という基本理念を掲げています。

2. 目的

この基本理念の実現のために「JIS Q 27001:2023/ISO/IEC 27001:2022」に適合する情報セキュリティマネジメントシステム(以下、ISMSという)を構築し、お客様、法令及び規制要求事項並びに当社で定めた基準を満たした製品・サービスを提供する能力を有することを実証するとともにお客様及びお客様を含む利害関係者の信頼と満足を得ることを目的とします。

3. 方向性

ISMSの構築及び継続的な維持・改善を図り、以下の事項についての実現を目指します。

- 当社は、広範囲の脅威から適切に保護すべき新製品情報を含む顧客関連の外部情報や技術・生産・人事・財務等の内部情報とコンピュータ・ネットワーク、設備等の重要な情報及び情報に関連する資産の情報セキュリティの向上を目指します。
- 重要な情報資産であるお客様から預託される個人情報の保護体制を確立することにより、信頼性を向上させ、継続した受注や新規のお客様、優良なお客様の獲得を目指します。
これにより、受注増と効率向上によって高収益が継続的に実現できていることを目指します。

4. 行動指針

- ① 情報資産のぜい弱性及び情報資産をリスクにさらす恐れのある脅威を管理するために、適切なリスクアセスメントを通して情報資産の価値を特定します。
- ② ISMSを確立・維持し、改善すべき点を改善することにより、リスクを許容可能な水準に維持します。
また、これにより事業継続マネジメントの安定化を図ります。
- ③ 全社員・仕入先は、情報セキュリティ方針に関連する契約条件を遵守します。
- ④ 全社員は、当社の就業規則を遵守します。
- ⑤ 全社員・仕入先に情報セキュリティ教育・訓練を定期的実施し意識を高めます。
- ⑥ 全社員・仕入先は、体系化した情報セキュリティ方針を遵守します。
- ⑦ 全社員・仕入先は、ISMS関連法規制を遵守します。

5. 管理者の役割と義務

社長は、当社のISMSの最高責任者として、これを確立し、実施させ、並びにその有効性を継続的に改善する責任と権限を持ちます。社長はISMS管理責任者(以下、管理責任者という)を任命し責任と権限を委譲し周知します。管理責任者は、ISMS部門責任者を任命し、各部門・部署におけるISMSの運用及び進捗管理並びに教育・訓練の責任と権限を委譲し周知します。また、管理責任者は、情報セキュリティ委員会を主催しISMSの有効性・適切性・妥当性、及びリスクマネジメントの継続的な改善の確保を図ります。

6. 社員等の責任と義務

この方針の運用は、その手順に従い定期的に内部監査を行い、方針が遵守されているか確認します。ISMS部門責任者は、適切な基準及びその手順に基づき、方針の実施を促進します。全社員及び仕入先は、情報セキュリティ方針に従わなければなりません。全社員及び仕入先は、事故及び特定された弱点を報告する責任と義務があります。

7. 罰則

当社、顧客、仕入先の情報資産の保護を危うくする行為を行った社員等は、就業規則に基づき懲戒処分、または法的処分の対象となります。

2026年 4月1日
寿精版印刷株式会社

代表取締役社長 鷺谷 佳宣